

「第25回全国高校女子硬式野球選手権大会」の色紙

2021年8月23日、阪神甲子園球場において「第25回全国高校女子硬式野球選手権大会」の決勝戦が開催された。本大会は、大会史上初めて決勝の舞台として阪神甲子園球場を使用することが実現した歴史的な大会であった。全国から40チームが参加し、決勝戦では神戸弘陵学園高等学校と高知中央高等学校が熱戦を繰り広げた結果、神戸弘陵が4-0で5年ぶり2度目の優勝を果たした。

その際に優勝校である、神戸広陵より寄贈頂いたサイン色紙を右の写真で紹介する。

決勝戦の始球式は元社会人野球選手の高橋町子氏(当時84歳)が務めた。スコアボードには「女子硬式野球の父 四津浩平に捧ぐ」の文字が映し出され、女子硬式野球の普及に尽力した四津浩平氏への深い感謝と敬意が表された。

四津氏は1995年に日本初の女子硬式野球大会「日中対抗女子中学高校親善野球大会」を開催し、1998年には女子硬式野球連盟を創設。男子生徒と同じスポーツを共有させたいとの思いを抱き、私財を投じて孤軍奮闘しながら女子野球の基盤を築き上げた。2004年に63歳で逝去するまで、その情熱は女子硬式野球の発展を支え続けた。このような彼を中心とした人々の努力が、甲子園での決勝戦開催という形で結実したのである。

女子高校生たちが甲子園の地でプレーする姿は、多くの人々に感動を与え、女子硬式野球の新たな可能性を広く示す出来事となった。

2024年に開場100周年を迎えた甲子園は、性別を超えて夢を託す場として変化を遂げつつある。この地で野球がさらなる躍

進を遂げることを期待し、当館でも史料を通じてその意義を伝え続けていきたい。

公益財団法人 野球殿堂博物館
学芸員 太田若葉

注 当館では全日本女子硬式野球選手権大会の他に、全日本女子硬式クラブ野球選手権大会、全国高等学校女子硬式野球選手権大会、全日本大学女子硬式野球選手権大会の優勝チーム色紙及び帽子を定期的に収集、展示している。

参考文献

- 1 『朝日新聞』 2021年8月24日
- 2 全国高等学校女子硬式野球連盟HP(2024年11月23日閲覧)

